



2021年
11月5日
No.A21-07

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

中東調査会月間活動誌 (2021年10月)

1. 中東調査会主催の行事

(1) トップ・ミーティング

・10月6日(水)、蔡明耀(さいめいよう)
台北駐日経済文化代表処副代表(特命政務公使)
「台湾を巡る情勢と日台関係」(於:オークラ東京)



<要旨>

講師より、台湾は自由・民主主義・人権を重視する点を強調した上で、米国のトランプ前政権以降に変化した米台関係、日台の緊密な政治・経済関係、最近の中台関係を中心に幅広い説明がなされた。

(2) 中東情勢オンライン講演会

・10月5日(火)、篠塚 隆 駐モロッコ特命全権大使「モロッコ情勢と日・モロッコ関係」
(Zoom形式)

<要旨>

講師より、現下の連立与党体制、外交課題、経済及び投資・インフラ分野での海外企業の進

出状況、COVID-19感染拡大の推移と影響、皇室外交を含めた対日関係について解説があった。質疑では、政権交代がビジネス環境に及ぼす影響、鉱物資源の生産・輸出、治安・内政、経済回復への道筋などの状況について質問が出た。

(3) 中東情勢分析発表会

・10月22日(金)、第23回オンライン中東情勢分析発表会 (Zoom形式)



演題:「最近のチュニジア及びアルジェリア情勢」(研究員 高橋 雅英)

<要旨>

まず、チュニジア情勢について、7月25日のサイード大統領による権力奪取の背景を説明し、今後の展望について検討した。次に、アルジェリア情勢に関して、体制維持の構造的問題と周辺諸国の不安定化がアルジェリアの治安情勢に及ぼす影響について説明した。

演題:「シーシー政権の体制安定化戦略」(上席研究員 金谷 美紗)

<要旨>

発足7年目を迎えるエジプトのシーシー政権が、治安対策、内政における反体制勢力排除政策、経済政策、外交政策から体制の安定化を図っていることを説明した。

2. 中東調査会の活動

(1) 中東トピックスの発行【会員限定】

- ・2021年10月号(2021年11月5日付)
- 1. GCC：レバノン情報相への抗議
- 2. イラン：ウィーン協議再開に向けた動きが活発化
- 3. UAE：ドバイ国際博覧会2020が開幕
- 4. トルコ：10カ国の駐トルコ大使が実業家カヴァラ氏の釈放を要求
- 5. アフガニスタン：ハリールザード米特使の辞任
- 6. リビア：外国軍及び外国人傭兵の撤退に関する協議
- 7. イラク：議会選挙
- 8. レバノン：ベイルート湾爆発事故の捜査の政治化と暴力化

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/)

(2) イスラーム過激派モニターの発行【会員限定】

- ・No.12「ターリバーン統治下の「イスラーム国」」(10月5日)
- ・No.13「イスラーム国中央アフリカ州がウガンダのレストラン爆破を主張」(10月23日)

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/monitor/)

(3) 中東かわら版の発行

- No.68「アフガニスタン：米国・ターリバーン間協議に見る双方の思惑」(研究員 青木健太、

10月11日)

- No.69「モロッコ：アハンヌーシュ内閣の成立」(研究員 高橋雅英、10月11日)
 - No.70「チュニジア：ナジュラー・ブーデン内閣の発足」(研究員 高橋雅英、10月12日)
 - No.71「内閣改造(ハサーウナ第4次内閣の成立)」(上席研究員 金谷美紗、10月12日)
 - No.72「アフガニスタン：モスクワ会合参加諸国がターリバーンに「包摂的」政権成立を要求」(研究員 青木健太、10月21日)
 - No.73「エジプト：全土非常事態宣言の解除」(上席研究員 金谷美紗、10月26日)
 - No.74「カタール：内閣改造」(研究員 高尾賢一郎、10月27日)
 - No.75「アフガニスタン：中国の王毅外相がターリバーンのバラール副首相代行と会談」(研究員 青木健太、10月27日)
 - No.76「イラン：アフガニスタンに関する近隣7カ国外相会合を主催」(研究員 青木健太、10月29日)
 - No.77「チュニジア：元ナフダ党幹部が新党の結成へ」(研究員 高橋雅英、10月29日)
 - No.78「イラン：核合意を巡るウィーン協議再開に向けた動き」(研究員 青木健太、10月29日)
- (<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

(4) その他の活動

- ・東京外国語大学が開講する単位認定科目「国際社会をひもとくB/中東諸国の紛争と平和」へ当会研究員が出講した。
- ① 「中東諸国の紛争と平和：講義概要」(上席研究員 金谷美紗、10月6日)
- ② 「中東の国家建設：長期化するアフガニスタン紛争と国家建設」(研究員 青木健太、10月13日)
- ③ 「中東における政治体制：ハイブリッド(折衷的)な国家建設の事例」(研究員 青木健

太、10月20日)

- ④ 「争議の政治(1):社会運動論と「アラブの春」(上席研究員 金谷美紗、10月27日)

・横浜市立大学が開講するエクステンション講座「現代の中東・北アフリカ・南西アジアを理解しよう～公益財団法人中東調査会の先生方をお招きして～」へ当会研究員が出講した。

- ① 「南アジア(アフガニスタン・パキスタン)とターリバーン」(研究員 青木健太、10月18日)
 ② 「イスラエル・パレスチナ紛争の現在」(上席研究員 金谷美紗、10月21日)
 ③ 「アラビア半島(湾岸諸国)とイスラーム」(研究員 高尾賢一郎、10月25日)
 ④ 「リビア紛争の行方」(研究員 高橋雅英、10月28日)



- ・10月8日(金)、研究員 青木健太「アフガニスタンの現状と今後の世界経済へ与える影響」*一般社団法人日本物流団体連合会「国際業務委員会」へ出講した。
 ・10月9日(土)、研究員 青木健太「米軍撤退後のアフガニスタン」*一般財団法人アジア・パシフィック・イニシアティブ主催の「第5回API地経学オンラインサロン」へ出講し

た。

- ・10月14日(木)、研究員 青木健太「アフガニスタンを巡る国際情勢～歴史、民族、地政学と今後の展望～」*岡三証券株式会社主催の「岡三ビジネスセミナー」へ出講した。
 ・10月22日(金)、研究員 青木健太「アフガニスタンの現状と今後の経済・産業面への影響」*一般社団法人日本産業機械工業会ポンプ技術者連盟主催講演会へ出講した。

3. その他

(1) 要人往来

- ・12日(火)、岸田総理はアフガニスタンに関するG20首脳テレビ会議に出席した。

(2) 外務省人事

- ・10月8日(金) 発令
 アラブ首長国連邦大使 磯俣 秋男
 ・10月8日(金) 発令
 エジプト大使 岡 浩

4. 11月の予定

- ・11月10日(水)、8:30～10:00、於：オークラ東京プレステージタワー7階「メイプル」、トップ・ミーティング(下斗米伸夫 神奈川大学特別招聘教授、法政大名誉教授)「日露関係の展望」*法人会員限定
 ・11月15日(月)、16:00～17:30、中東情勢オンライン講演会(嶋崎 郁 駐ヨルダン特命全権大使)「最近のヨルダン情勢と日本・ヨルダン関係」(Zoom形式)

※やむを得ない事情により、日時や会場が変更になることもございますのでご了承ください。また、この他にもイベントを開催することもございます。詳細等と併せまして、配信メールやHPをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/event/>)

*会員の皆様は、どなたでも会員限定ページをご覧になれます。

*ログインに必要なIDとパスワードは、御社の当会担当窓口にお問い合わせください。